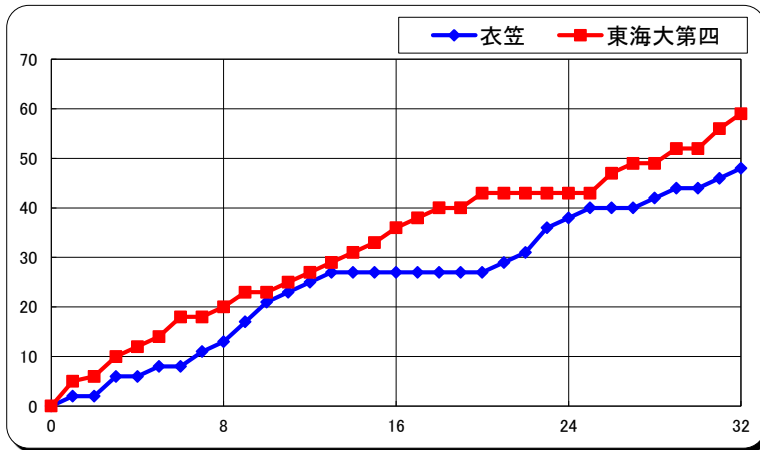




【得点経過】



大会名	東日本大震災復興支援平成24年度全国中学校体育大会第42回全国中学校バスケットボール大会																
会場	蓮田市総合市民体育館																
日時	平成24年8月22日(水) 14:50																
コート	Gコート	第5試合															
カテゴリー	男子	予選Cリーグ															
主審	恩地 孝明	(広島県)															
副審	浅井 祐治	(三重県)															
Team A		Team B															
衣笠	48	59 東海大第四															
(神奈川県)		(北海道)															
	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>14</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>7</td></tr> <tr><td>10</td><td>4th</td><td>16</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	13	1st	20	14	2nd	16	11	3rd	7	10	4th	16		OT		
13	1st	20															
14	2nd	16															
11	3rd	7															
10	4th	16															
	OT																

【BOXスコア】

Team A		衣笠						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	山村 海斗	×	10	1	3	1	1	
5	富樫 颯人	×	20	0	8	4	2	
6	外館 拓海	×	14	0	7	0	5	
7	野崎 恭平	／	0	0	0	0	1	
8	中山 蓮	×	4	0	2	0	0	
9	島村 朋也	×	0	0	0	0	0	
10	小向 幸四郎	DNP	0	0	0	0	0	
11	米山 南幹	DNP	0	0	0	0	0	
12	奥山 喜理人	／	0	0	0	0	1	
13	荒井 虎太郎	DNP	0	0	0	0	0	
14	今村 龍玄	DNP	0	0	0	0	0	
15	滝口 了也	DNP	0	0	0	0	0	
16	佐々木 ムライラシード	DNP	0	0	0	0	0	
17	岩崎 琢朗	DNP	0	0	0	0	0	
18	大河内 司	DNP	0	0	0	0	0	
監督	鈴木 千秋						0	
コーチ	野沢 俊輔						0	
合計			48	1	20	5	10	

Team B		東海大第四						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	三上 侑希	×	20	1	8	1	2	
5	越田 耀介	／	4	0	2	0	1	
6	高橋 優太	×	2	0	1	0	2	
7	長澤 亮太	×	18	1	7	1	4	
8	石丸 佑太	×	2	0	1	0	0	
9	元木 貴裕	DNP	0	0	0	0	0	
10	中谷 空	DNP	0	0	0	0	0	
11	内田 元貴	×	13	0	5	3	1	
12	峯田 直弥	DNP	0	0	0	0	0	
13	浜本 陸	DNP	0	0	0	0	0	
14	津嶋 大悟	／	0	0	0	0	0	
15	白勢 恭平	DNP	0	0	0	0	0	
16	佐々木 悠斗	DNP	0	0	0	0	0	
17	小林 涼夏	DNP	0	0	0	0	0	
18	山本 鳴海	DNP	0	0	0	0	0	
監督	嶋村 圭太						0	
コーチ	柴山 裕樹						0	
合計			59	2	24	5	10	

【戦評】

両チームハーフマンツーマンDefでスタート。東海大だい四は3P、2P、フリースローを連続で決め6点を確実に取り、好スタートを切る。東海大四はリバウンドからの速いボール運びとシュート。衣笠は、#5#6のシュートで頑張る。残り1分で18-8で東海大四リード。たまたま、衣笠がタイムアウト。#4#6のシュートで追いつき20-13東海大四リードで1Q終了。2Q衣笠が積極的にシュートを打ち残り6分23-21の2点差に追いつく。両チーム流れに乗れないまま進むが、残り2分くらいから東海大四がリバウンドを取り始め、36-27で東海大四リードで前半終了。

後半、衣笠はシュートを打つものの、リングに嫌われなかなか得点に結びつかない。一方、東海大四は#11を中心にゴール下を着実に決め得点をかさねる。衣笠は約6分間得点が取れなかったが、#6のフックシュート等で何とか得点をし、食いつき残り3Qは43-38東海大四リードで終わる。いよいよ、勝負の4Q両チーム#4が頑張る得点をするが、東海大四#11のDefリバウンドやリバウンドシュートを決め残り3分51-42で衣笠たまたまタイムアウト。その後オールコートプレスで反撃を試みるが、これも、リングに嫌われ逆に東海大四#11にゴール下シュートを決められ東海大四59-48衣笠で終了。両チームとも最後まであきらめず、頑張った好ゲームであった。

【戦評記入者】

百北 真一